

# 指導救命士による再教育

～小さな消防本部でもできること～

徳島県メディカルコントロール協議会

名西消防組合消防本部

指導救命士 井上哲夫



# 実施事項 1

当本部では、救急隊員に対して救急訓練という名目で年4回程度研修会を実施しており指導救命士が座長を務める「症例検討会」やJPTECインストラクター等の有資格者を中心にした「実技シミュレーション演習」を実施するほか、外部講師を積極的に招いた様々な講習を実施している。





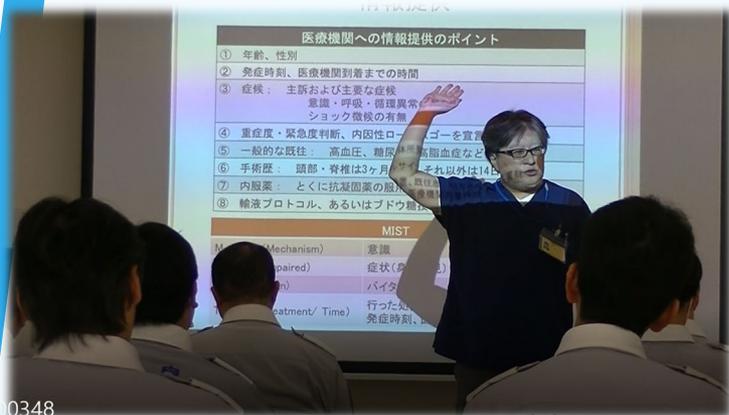
# 県MCでの動き 1

県内全域の救急症例を対象として実施する「事後検証症例発表会」でMC医師と指導救命士が座長を務めている  
あわせて最優秀症例発表者の選出もしている。



# 県MCでの動き 2

今年度からPOT研修を指導救命士が講師を務め自主的な開催を目指している。



# 今後の課題



- 指導救命士の養成。
- 通信指令訓練にも力を入れていきたい。
- 当本部は山間部と平野部が混在し、徳島県内では中央部と山間部の間に位置することを考えると、Drヘリとの連携強化を再教育の中に盛り込んでいきたい。
- 徳島県MC協議会では、今年度からPOT研修を指導救命士が進行することとなっている。今後は所属の救急救命士、救急隊員の指導はもちろんのこと、研修等を通じて県下全域の救急隊員の資質向上に努めていきたいと考えている。

ご静聴ありがとうございました。



是非、徳島に遊びに来てください。

